

ゆすまいる

第27号

平成31年3月



高知県中学校体育連盟剣道部

目次

1P
~3P

地域福祉コーディネーター活動報告

4P

複合福祉施設 YURURI ゆすはらよりお知らせ

5P

笑顔つながれ!! 輪ッハッハ
~町内各種団体ルー~

6P

輝く梶原人! み~つけたっ!

掲示板

福祉サービス困りごと相談について
義援金について

地域福祉コーディネーター事業 各区活動報告

四万川区 担当：中越 誠

部落会、地域行事（祭事）茶話会など、地域内の様々な集いの場に参加させていただき、地域の様子や気になることなどお話を伺いました。7月豪雨の際には浸水被害に遭われたお宅もあり、災害ボランティアの活動もありました。また、地域で防災を考える契機となったところもあり、井高では防災をテーマにした部落会（座談会）を開催され、避難経路・避難方法などを話し合い、防災マップづくりにも取り組まれました。



百歳体操を始めたい地域からのご相談では、共同募金配分金事業を利用して開催を支援することができ、参加者の皆さんの健康づくりに取り組む集いの場となっているようです。

今後もいろいろな地域の会や行事へ参加させていただき、地域のことを一緒に考える、また心配ごとや困りごとを気軽に相談していただけるよう努めてまいりますので、ご協力の程よろしくお願いたします。



初瀬区 担当：山口 あゆみ

個別訪問を中心に、部落祭事への参加、地域支え合い事業（つむぎあい）の利用手続き支援、赤い羽根共同募金の地域活動推進事業の活用、地域課題解決に向けて部落代表さんや家族と連携をとったり、生活不安の解消に向け支援センターや行政機関へのつなぎ支援を行いました。

健康づくり活動と集いの場のサポートでは、地域の方への参加の声掛けをさせていただき、体操後のお茶会を開催することにより、楽しみながら続けることができている。

いきいきの場を活用して座談会を行い日頃の楽しみ・生きがい・今後実施してみたいことについて話し合いました。日頃の楽しみとしては、集いの場へ参加して食事や会話を楽しみたいという意見が多く、日々の中で人とのつながりの大切さを再確認することが出来ました。

今後やってみたいことではヘリコプター遊覧やコンサート等の普段の生活では思いもよらない意見もあり、目標や希望が生き生きとした生活に必要であると感じました。まずは12月のいきいきで『はしけん大会』を行いました。初瀬東小では、かつて運動会の種目にあつた事もあり、盛り上がり好評でした。

初瀬で住み続けたいという思いに寄り添えるよう、今後も地域の皆さんの助け合いを大事にしながら「やりたいこと・やれること」を実現できるよう一緒に考え、元気に活動できる初瀬のため、何でも相談いただけるよう努めて参ります。



平成30年度も6地区でコーディネーター活動を展開させていただきました。各地区でお力添えいただきました皆様へ感謝申し上げます。

今年度の地域福祉コーディネーター活動は、『地域支え合い事業（つむぎあい）』の見直しに向けて、どのような資源があれば安心して暮らしていけるかを把握するために80歳以上の独居高齢者を対象に困りごと調査を行いました。今後は、保健福祉支援センターとも協議を重ね、地域力を活かし困った時に支え合える仕組みづくりを考えていきます。

東区 担当：山田 美奈子

今年度の活動は、日常生活自立支援事業利用前後の援助、高知県立大学生地域学実習の支援に合わせた梶原高校生徒との交流学习サポート、地域支え合い事業（つむぎあい）の利用手続き支援・利用者や協力者への後方支援、支援センター専門職との連携による個別支援や情報提供、小地域（部落）への訪問活動や催事への参加、地域福祉座談会や茶話会の開催などがあげられます。



地域福祉座談会を開催させていただいた豊原部落では、「今一番自分たちが気になっていることは『物忘れ』。部落の集会所にみんなで集まって認知症の予防体操をやりたい。健康を維持するためには食生活が大切なので『栄養』に関する話を聞きたい。」等の声があがり、支援センター保健師や管理栄養士とつながらせていただきました。これをきっかけに、3月3日、代表を中心として『認知症予防について（栄養のお話・二重課題へのチャレンジを含む）』の勉強会を開催しました。また、部落住民が力を合わせて集会所のトイレや台所流し台の交換、室内出入り口へのスロープと手すりの設置等を実施するに当たり、今年度の地域活動推進事業活用による後方支援をさせていただきました。

今後も、小地域における多様で自主的な活動を応援し、情報提供等とおして地域の皆さんと一緒に『支え合いの仕組みづくり』を考えていきたいので、皆さんのご協力をお願いします。

松原区 担当：玉川 富美恵 山口 あゆみ

部落行事・イベントなどへの参加と個別訪問をさせていただき、地域の特性や個々のお話し・困りごとなどを伺いました。

松原スポーツクラブは、高知県社会福祉協議会の助成金を活用して用具の充実を図り、より多くの世代の方が参加できる地域の大切な集いの場となっています。毎週水曜日の午後グラウンドゴルフと、金曜日の夜（卓球・バドミントン・バレー）を実施。年末にはグラウンドゴルフ松原杯を開催することなど楽しみながらの健康づくりが続いています。



島中部落では赤い羽根共同募金の地域活動推進事業の啓発を行い、地域住民の気軽集える健康づくり（百歳体操）などの思いをサポートしました。

大向部落では、高知県立大学生の実習生受け入れを行い、毎月行われている宅老所（やいろちょうの里）実施に込められた地域の思いや学生ならではの柔軟な視点からの分析・意見交換を行い交流を深めました。

松原区は町を中心から遠く離れていることから特に健康づくりについては意識が高いと感じています。今後も地域の皆さんのご意見をお聞きし安心して住み続けられる地域づくりを応援して行きます。

今年は雪もなく、暖かい日が続いており、デイサービスは休まず営業しております。入浴の間に体操や機能訓練を兼ねたレクリエーション活動、季節に合わせた創作活動を行っています。



雛人形を自分好みの顔へ仕上げました。
美男美女でしょ??



たくさんのパラソルを製作中です

デイサービスゆるいだよ



職員の赤ちゃんが遊びに来てくれました



クッキーの製作。おいしく頂きました。



すごろくゲーム! だれが一番にゴールするかな?



景品贈呈中身は何か?

ケアハウスゆるいだよ

ケアハウスゆるりでは、1月26日(土)に家族様をお招きして、新年会を行いました。急な案内だったにもかかわらず、3組の家族様にご参加いただきました。施設開設から今までの入居者様の様子をスライドにまとめ、上映しながら利用者様・家族様・職員で思い出話を花を咲かせました。また、景品を構えて「すごろく」や「くじびき」などのゲームも行いました。みんなで楽しくて賑やかなひと時を過ごしました。



真剣そのもの。みんな注目

地域福祉コーディネーター事業各区活動報告

西区

担当：玉川 富美恵

西区は、各部落で定期的に部落会が開催されており地域の困りごとはある程度地域で解決できていることから、各部落代表や民生委員と情報共有をさせていただきながら個別支援に注力し訪問活動を行いました。

主な活動は、未就労者の不安への寄り添い支援、独居高齢者や障害を含めた世帯支援、日常生活の困りごとなどを町内資源とつなぐ事ができないか一緒に考え、情報提供などを行いました。

一人一人が元気に生きがいを持つことが出来るようになったら地域の互助・共助への意識の向上にもつながってくることを改めて感じています。そこで、地域の集いなどで今日行(今日行くところ) 今日用(今日用の事)の大切さを伝えてきました。

また、少人数の集いにお邪魔する事でその集いの趣旨などに触れることや、様々な思い・考え方があることを知りました。

各部落座談会を通して地域に対する熱い思いを持っている方はたくさんいらっしゃることは把握できたため、焦らず地域の力が発揮できるタイミングで体操や趣味の集い、勉強会、支え合い活動などをサポートしています。

これからも個々の思いを大切にしながら、地域の力を引き出し地域づくりと一緒に楽しんでいきます。



越知面区

担当：西村 悠

個別訪問や行事に参加、支援センター、民生委員との連携による見守り支援、地域の生きがいづくりと健康づくりを兼ねた集いの場のサポート、地域活動推進事業を活用しての地域活動サポートなどを行いました。

9月からは越知面グラウンドゴルフが始まり、毎月第1・3火曜日の午後から活動しています。地域の高齢者は活動したい気持ちはあるが、移動手段等が課題となって活動しづらい状況がありました。いきいきのボランティアの方に相談し、一緒にきっかけづくりを話し合う中で、いきいきとは別の集いの場(健康・生きがいづくり)の必要性を地域の方が感じたことがきっかけで活動がはじまりました。はじめは老人クラブ会員6名からスタートしましたが、参加者同士の声かけで輪が広がり、今では老人クラブの会員だけではなく地域の60・70代の参加も増え、これをきっかけに老人クラブに加入してくれた方もいました。若い世代の参加が増えたことで活動も盛り上がり、みなさんの活動したい気持ちが少しずつ

行動に移すことができています。「久しぶりに腹の底から笑った」と健康と生きがいづくりの場になっています。



地域活動推進事業(共同募金配分金)を活用しての活動では、これをきっかけに、参加者は減っていても毎年活動を続けられている団体や自分たちが楽しめること、越知面地域の活性のために活発に取り組まれている団体があり、「健康、安心、生きがいを地域で進める」というこの事業の目的が地域で取り組めました。今後も皆さんの思いを大切にしながら、地域の支え合いのきっかけづくり等を行い、「越知面に住んで良かった」と思える地域を皆さんと一緒に考えていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

輝く梶原人！み～つけたっ〇〇！ in 越知面区



趣味も多く、じっとしておることのない俊一さん。お話を伺うといきいきと話をしていただきました。皆さんにも知ってもらいたいと思い活動への思いなどをお伺いしました。

なかごしゅんいち

中越俊一さん (73)

梶原町永野出身。県内外で架線（山師）仕事をし、その後ミロクで定年まで勤める。趣味も多く、現在は夫婦で趣味や地域活動に積極的に取り組まれている。推進員。

子どもの頃から 花や野草が好きだった

亡くなった弟が田んぼのところに池にしてメダカを飼いよって、なんぼでも増えて池だけでは面白くないので、蓮を植えた。庭の木や花などもいっぱい植えて「カルスト山草園カルストの池」という名前をつけよう。蓮は自然に出来ているので「モネの庭よりここがえい！」と言うてくれる方もおるがよ。みんなが好きならもっと植えようと思うて、モモや福寿草、シャクヤクを植えた。シャクヤクは白 300 本、赤は種から 1,000 本植えた。子どもの時には当たり前にあったものが今ではめずらしいきね。弟と探し回って植えた。赤色は絶滅種と牧野植物園の館長が言いよった。めずらしいものもいっぱいあるので、それを見に県外の人があるね。興味がある人は見に来てほしいね。花を見に行こうと言われたらたいい行くし、あちこちに花仲間もおるがよ。奥さんも花が好きで共通の趣味で、色んなところ見に行ったりもする。地域の高齢者で行きたいけど便がない人がおったら一緒に連れて行きたいねって奥さんと話うがよ。



▲ 赤いシャクヤク



▲ 春を待つ福寿草



▲ 白い藤の花

▲ そぼの花

じっとしておれんがよ

花や野草以外にも趣味がいっぱいある。田んぼや野菜づくり、釣り、陶芸も自分で窯を作って素焼きもしよう。孫にブランコを作ったりなど色んなことをしよう。日曜日は永野部落のみんなといやしの里で働いたり、ストラップや組紐も作りよう。ストラップや組紐は山に行っている時に編み方を覚えて、編んでいたら楽しかったので、アクセサリーとかも作り始めた。携帯のストラップは友人に「携帯につるすものがほしい」と言われて作り始めた。「これはいい！出してみいよ」と言われて作って出すようになったがよ。普通のストラップだと山で木に引っかかったら危険やけどこれは紐やき安全。時間があたらなか作ったりしよう。じっとしておることはないね。



▲ 組紐とストラップ

梶原の名物の 1 つに なったらいいなあ

同じ永野部落の中越勇次郎と一緒に、荒れた畑にハナモモ 300 本、いやしの里の手前に紅葉を 70 本植えている。町外の観光客もいやしの里にたくさん来るので、梶原の名物の 1 つになればいいなあと 2 人で思いよう。



笑顔つなぐれ!! 輪ッ人ッ人 ~町内各種団体紹介リレー~

前回の梶原町シルバー人材センター 会長 掛橋 勤さんにご紹介いただき、今回は 梶原町ゲートボール連合会 会長 岩本 直也 さん にインタビューしました。

* * *

仕事を退職後、「次の人生楽しゅうやらんと！」とゴルフや珍しい野菜づくりなど、物事に面白おかしく取り組みたいと語る岩本さんからゲートボールに対する思いやお話を伺いました。

中越 (悠) よろしくお祈いします！まずは梶原町ゲートボール連合会のことを教えてください！

岩本 梶原町ゲートボール連合会は高齢の方が集まって、ワイワイガヤガヤしながら楽しくゲートボールをやりようよ。大会を開いて普段の成果を出したり、高幡や県の大大会に出て、そこで交流したりすることを楽しみにやりようよ。練習も毎週決まった曜日に行っている地域もあつて、梶原はチーム数も多く、県下ではだいぶ盛んにやりようほうやと思うよ。

山口 ゲートボールに関わるきっかけはなんでしたか？

岩本 昔からゴルフをやりよって、パターの練習になるかなと思つて始めたがよ。パターは逆グリップでやるきゲートボールもこだわつてそうしよる。最初のころは球をゲートに通せんかつたね。練習しかないとつて、なぜゲートに通らないのか、どうすれば固定してまっすぐ振れるか考へて練習したよ。結果、ゴルフのパターの成績も良うなつた。まっすぐ打つこともやけど、ゲートボールのパッティングで距離感を養いようよ。ゲートボールがゴルフに活かされちゅうと感ずるね。

中越 (悠) ゲートボールに取り組んで感ずることはありますか？

岩本 球をゲートへ通すとか、球に当てるとか、それができだしたら面白い。第 1 ゲートとか通らんと試合に参加できんきね (笑) 戦術はそれからやね。

戦術がゲートボールはなかなか奥が深い。みんなにも言うけど、ゲートボールは将棋とカーリングとゴルフのパターを合わせたようなもの。将棋みたいに先の先を読む、カーリングみたいに球を当てて弾き飛ばす技術とか、球を当てる技術はゴルフのパターと相通ずるものがあるね。年間、町内外問わず大会がたくさん開かれるんやけど、また町外のチームは梶原とは戦略が違つてね。「ああこんなこともできるんだ。」つて新しい発見がたくさんあるよ。

中越 (悠) 今後の目標など教えてください！

岩本 チームとしては県の大大会とかで 1 回ぐらいは優勝してみたいつていうのはあるね。あとはメンバーを増やしていきたい。ゲートボールの人口が減つてきてるんでね。ゲートボールは昔から喧嘩するイメージがあるろ？今本気で怒つたりする人はおらんきね。いっぺん試しにやつてもらいたいな。僕は医学的とかわからんけど、90 歳になつても楽しくやる人はおるし、案外認知症予防にもなつていくと思つて。若い人らあにもやつてもらいたいね。あれはお年寄りだけのスポーツじゃあない。戦術が大事なところもあるき若い人もやりだしたらハマつてくるんじゃないかなと思つて。ゴルフをやりよう人にもおすすめることができるね。ぜひ、ゲートボールをやりに来てください！お待ちしております！

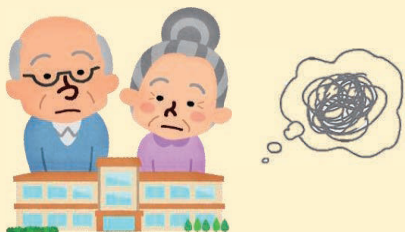
中越 (悠)・山口 ありがとうございます！

今回は 婦人会 会長 山口真知子さんを紹介していただきました。お楽しみに！

掲 示 板

福祉サービスで悩んだり、困ったりしていることはありませんか？

各種社会福祉施設(老人ホームや就労継続支援事業所、保育所等)やホームヘルプサービスといった福祉サービス利用についての疑問や悩み等の困りごとは、その事業者との話し合いでの解決が望めます。しかし、話し合いだけでは解決しなかったり、直接話すことに少し抵抗を感じたりする場合もあると思います。そのような時には「福祉サービス困りごと解決委員会」にご相談ください。秘密厳守で対応させていただきます。相談は無料で、受付は年末年始を除いた平日の午前9時から午後4時までです。



〒780-8567 高知市朝倉戊 375-1 高知県立ふくし交流プラザ
高知県運営適正化委員会 (福祉サービス困りごと解決委員会)

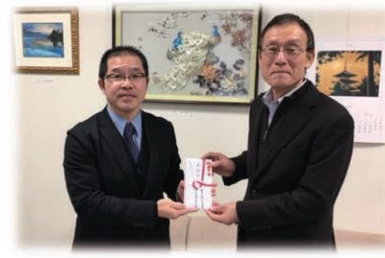
電話 088-802-2611 FAX 088-844-3852

e-mail : kaiketsu@pippikochi.or.jp (FAX とメールは 24 時間受付)

1月29日、梶原学園と梶原高校の剣道部のメンバーが、昨年7月の西日本豪雨災害の被災者支援のためにと、社会福祉協議会の事務所を訪れ義援金を届けてくれました。

以前から剣道の試合を通して交流のあった愛媛県の大規模な被災の状況を知った剣道部員達が、自分達にできる支援をしたいという思いから、保護者の協力を得て高原祭前夜祭で唐揚げやフライドポテトの出店をし、その売り上げ金を社協に託していただきました。

「被災された方々のために役立ててください。」との部員の皆さんの思いをお預かりし、2月1日、災害ボランティアセンターの運営支援でつながりのあった宇和島市社会福祉協議会を訪問し、石崎事務局長にお渡ししました。「生徒さん方の想いに添えるよう大切に活用いたします。」と感謝されていました。両校の剣道部の皆さんありがとうございました。



～あとがき～

今年度も社協広報誌『ゆすまいる』をご覧いただきありがとうございました。各方面から様々な反響をいただき、嬉しくやりがいを感じております。

来年度も引き続き地域の活動を発信していくことで、地域の皆さんが笑顔になればいいなと考えております。地域の活動やイベント、表紙に載せたい写真などありましたら、いつでもお声かけください。よろしく願いいたします。

広報担当：西村悠、中越悠一朗、川田沙月
中越裕美 小野晴香



** 今月号の表紙の写真 **

1		
2	3	4

- ① 楽しかったよ老人大学！！
- ② バルーンアートを楽しむ上川博清さん
- ③ 高知県中学校剣道新人大会第 3 位！
四国大会出場決定！おめでとう☆
- ④ 手作りピザはおいしいな♪西村みおちゃん

発行元：社会福祉法人 梶原町社会福祉協議会 住所：高知県高岡郡梶原町川西路 2321-1

発行責任者：樋口 益也 電話：0889-65-1235 ホームページ：<https://www.yusuhara-shakyo.jp/>